

国民平和進行県内行進、SNS ニュース No.1

7月13日 実行委員会 事務局

行進初日 長野県から引き継ぐ

引き継ぎ式には 長野・山梨両県で 50名が参加

式では、長野県富士見町実行委員会の代表小池さん、長野県原水協の丸山さんが長野県の行進の様子や、参院選直後の情勢、これからの課題について発言、山梨県実行委員長手塚さんが代表挨拶、山梨県の通し行進者坂上さんが決意表明、新婦人北杜支部の野牧さんがこれからの運動の決意を述べ、折り鶴を歌唱しました。式には、山梨県労、梨高教、ユーコープ労組、北杜市平和委員会、梨商連、武川・白州9条の会などの代表が参加しました。



北杜市役所のセレモニーに地元などから新婦人や平和委員会、年金者組合、共産党などから80人が参加。市職員10名が出迎え、北杜市上村英司市長、議会議長が挨拶、行進ペナントを託してくださいました。ウクライナでボランティア活動に参加した奥村さんが発言、北杜市新婦人から、8月に高校生の絵展などを開くことが紹介されました。

北杜市では、須玉支所から、北杜市役所まで、感染対策を行いつつ、約80人が歩きました。



北杜市上村英司市長の挨拶要旨です

「連日、報道されますウクライナでの戦争により、人々の命が失われている状況の胸が痛む。広島、長崎に原爆が投下され77年経つ今でも多くの方が放射能で苦しんでおられることに戦争の悲惨さ、恐ろしさを感じる。戦争をなくし、核兵器を廃絶することは人類の共通の願い、被爆国である日本国民にとってこの精神の継承は使命です。北杜市も2005年に非核平和都市宣言をした。核のない世界平和の実現に努める」。

韮崎市でセレモニーでは、15人の市職員が出迎え、内藤一穂副市長が歓迎の挨拶、渡辺市議がお礼の言葉、通し行進者坂上さんが決意表明を行い、ペナントと署名を受け取りました。中銀前で12名がスタンディング。通る車から手を振る人も。



写真は、韮崎市役支所玄関でのセレモニー、中銀前でのスタンディング。

